

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 29 年 10 月 19 日 (2017.10.19)

【公開番号】特開 2017-105014 (P2017-105014A)  
 【公開日】平成 29 年 6 月 15 日 (2017.6.15)  
 【年通号数】公開・登録公報 2017-022  
 【出願番号】特願 2015-239234 (P2015-239234)  
 【国際特許分類】

**B 4 4 C 1/175 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 4 C 1/175 D

B 4 1 J 2/01 1 2 5

【手続補正書】  
 【提出日】平成 29 年 8 月 29 日 (2017.8.29)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】請求項 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【請求項 6】

印刷画像が形成された印刷画像付き水溶性フィルムの前記印刷画像の上に活性剤を塗布する活性剤塗布装置であって、

- a) 搬送テーブルと、前記印刷画像付き水溶性フィルムを該搬送テーブルの上面に沿って搬送する搬送手段とを有する搬送機構と、
  - b) 前記搬送テーブルの上部に配置された、該搬送テーブルに向けて活性剤を噴霧するノズルと、該ノズルに活性剤を供給する活性剤供給源とを有する活性剤噴霧装置と、
  - c) 前記活性剤噴霧装置よりも搬送方向下流側の前記搬送テーブルの上部に配置された、前記搬送テーブルに向けて温風を供給する温風供給装置と
- を有する活性剤塗布装置。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 3】

一般的に、紙以外の被印刷物の印刷には凹版印刷の一種であるグラビア印刷が用いられており、水圧転写フィルムにおいても、従来はグラビア印刷により画像等の印刷が行われていた。グラビア印刷法では、表面に多数の凹部が形成されたシリンダと呼ばれる版胴（凹版）が用いられる。版胴の作製には費用がかかるため、水圧転写フィルムを用いて画像等を付与する製品の数が少ない場合や製品のサイズが小さい場合等、必要となる水圧転写フィルムの量が少ない場合には、版胴の作製費用が水圧転写フィルムの価格を押し上げることになる。また、版胴の作製には時間がかかる。グラビア印刷の場合、水溶性フィルムに画像等を印刷したりメジュームを塗布したりする作業に 3～4 週間必要なところ、版胴の作製から始めると、注文を受けてから水圧転写フィルムが完成するまでに 2 ヶ月～2 ヶ月半程かかってしまう。そのため、需要者の要望に応じた様々な画像等が印刷された水圧転写フィルムを短い納期で提供するといった、いわゆるオンデマンド型の販売形態をとることができない。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記水圧転写フィルム製造装置では、導入機構によって印刷部に導入された水溶性フィルムの印刷面に対してインクジェットノズルからインクが吐出されることにより水溶性フィルムに印刷画像が形成される。続いて乾燥部によって、印刷画像が形成された水溶性フィルム（以下「印刷画像付き水溶性フィルム」という。）が乾燥される（つまり、印刷画像が固化される）。その後、搬送テーブルに沿って搬送される印刷画像付き水溶性フィルムは、活性剤噴霧装置のノズルの下を通過する際に印刷画像の上に活性剤が噴霧され、続いて、温風供給装置の下を通過する際に温風が供給されて活性剤が固化され、水圧転写フィルムが完成する。ここで、活性剤とは、「メジウム」又は「メディウム」とも呼ばれ、水圧転写フィルムの印刷面に形成された印刷画像を、被転写体に付着しやすい状態にするためのもので、バインダー成分が配合された溶剤から成る。活性剤の組成は、印刷画像を構成するインク成分と、水溶性フィルムの印刷面の組成等から適宜選択される。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

搬送テーブル121は昇降機構51によって支持されており、上昇位置（図2に示す状態）と下降位置（図1に示す状態）に変更することができる。メジウム塗布装置12の各部が動作しているときは、搬送テーブル121は上昇位置にあり、搬送テーブル121の上面と塵埃吸引装置125、メジウム噴霧装置126、温風供給装置127、冷風供給装置128は接近している。一方、第1保持部122に保持されているロール41から印刷画像付き水溶性フィルムF1を引き出して搬送テーブル121の上に設置する作業や、引き出した印刷画像付き水溶性フィルムF1の端部を第2保持部123の紙管に巻き付ける作業を行うとき等、作業者が作業を行うときは、搬送テーブル121を降下させて搬送テーブル121と塵埃吸引装置125、メジウム噴霧装置126、温風供給装置127、冷風供給装置128との間の距離を大きくすることができる。